

地質ニュース

昭和48年2月 第222号 1973

解説	昭和47年7月豪雨災害技術調査団参加記録から……………黒木安近 田野藤 和義 男人武教 善 1
	天草の豪雨災害と地質……………木野義人 4
	四国・中部・関東班の47.7豪雨災害……………安藤武 11
	中国班の踏査資料から……………黒田和男 20
	九州班天草以外の観察記録……………木野義人 31
	参加記録あとがき……………黒田和男 33
トピックス	京都 大阪 奈良 神戸 堺 大津の 基盤構造についての夢想①……………散官大夫 36
	火星の地質学②……………小森長生 43
海外事情	クメール共和国の鉱産資源……………沢田秀穂 50
	地学と切手……………P. Q. 49

編集 地質調査所

表紙の写真

フランボイド状黄鉄鉱

フランボイド状黄鉄鉱というのは黄鉄鉱微結晶の球状集合体のことでその名称はフランス語の framboise (木イチゴの実) に由来する。集合体の直径は10~50 μ 程度 構成結晶の粒度は1 μ 以下というきわめて小さなものである。この種の黄鉄鉱は泥質~石灰質堆積岩 堆積或硫化物鉱床などに産する。特異な形態なのでそのでき方について古くから研究されている。

写真は松峯鉱床の黒鉄鉱石直上にある泥岩中のフランボイド状黄鉄鉱で球状の集合体とバラバラの結晶とが共存している。マトリックスは粘土鉱物 薄板状の結晶は酸化により生じた硫酸鉄などの二次鉱物であろう。走査電子顕微鏡写真 約12,000倍。

(遠藤祐二)

発行 株式会社 実業公報社